

研修参加報告書

令和元年 11月 13日

会派名 令政会

会派代表者 尾関 昭

(参加者：尾関昭、中野裕二)

研修参加の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	令和元年 11月 7・8日(木・金)
研修時間	11月7日 9:30~17:00 11月8日 9:30~11:50
研修場所	霧島市国分体育館
研修内容	第81回全国都市問題会議 防災とコミュニティ

研修参加報告書

①

年月日	令和元年 11月 7.8日(木・金)
研修時間	11月7日 9:30~17:00 11月8日 9:30~11:50
研修場所	霧島市国分体育館
研修内容	第81回全国都市問題会議 防災とコミュニティ
■目的 全国の防災の先進事例を学び江南市の防災に役立てていくことと、全国から議員が集まるので、懇親を深め情報交換をすること	
■内容 第1日 11月7日(木) 9:30 開会式 開会挨拶 全国市長会 会長 相馬市長 立谷秀清氏 開催市市長挨拶 鹿児島県霧島市長 中重 真一氏 来賓挨拶 鹿児島県知事 三反園 訓氏 9:50 基調講演 鹿児島の歴史から学ぶ防災の知恵 志学館大学人間関係学部教授 原口 泉氏 ・南九州のシラス文化と自然災害 ・門割制度という防災農法 ・人災から歴史史料を守る 11:00 主報告 霧島市の防災の取組 火山防災 鹿児島県霧島市長 中重 真一氏 ・鹿児島県の自然災害 ・新燃岳噴火における市の対応 ・火山防災の取組 ① 住民、登山者への安全対策 ② 農業被害対策 ③ 観光業界等の被害対策 ④ 自治体間、関係機関等との連携、協力 13:10 一般報告 災害とコミュニティ 地域から地域防災力強化への答えを出す ために 田中 重好氏 ・注目されるコミュニティ防災(共助・自助) ・コミュニティをどう捉えるか	

・災害時のコミュニティの実態

① コミュニティと避難行動

② コミュニティと復興への取組

・現在の防災・復興対策におけるコミュニティに関連する課題・問題点

・自治体で、どうコミュニティ対策をしていったらいいのか

14 : 40 一般報告 平成30年7月豪雨災害における広島市の対応と取組について
広島県広島市長 松井 一寛氏

・災害の概要

・災害応急対応 ①組織の集約・整備②体制の見直し③救助活動の様子

④状況の把握

・生活再建に向けた取組①現場優先という意識②生活再建に向けた日用品の提供③民有地に流入した土砂の撤去④罹災証明発行のための認定調査

・周辺町への災害対応職員の応援派遣

・本格復旧に係る基本方針

・平成30年7月豪雨災害を受けて

15 : 50 一般報告 火山災害と防災

防災科学技術研究所火山研究推進センター長 中田節也氏

・おとなしい日本の火山活動・火山監視・観測と予測

・日本における火山防災の特徴・防災対策としてジオパークの活用

第2日 11月8日(金)

9 : 30 パネルディスカッション

〔テーマ〕防災とコミュニティ

コーディネーター 追手門学院大学地域創造学部地域創造学科長

田中正人氏

パネリスト 専修大学人間科学部教授 大矢根 淳氏

香川大学地域強靱化研究センター特命准教授 磯打千雅子氏

霧島市国分野口地区自治公民館長 持留憲治氏

静岡県三島市長 豊岡武士氏

和歌山県海南市長 神出政巳氏

11 : 50 閉会式 次期開催市市長挨拶 青森県八戸市長 小林真氏

閉会挨拶 後藤・安田記念東京都市研究所理事長

小早川光朗氏

行政視察 歴史と伝統を訪ねるコース

関平鉱泉販売所—霧島町蒸留所

日本で唯一の水の販売をしている場所

経緯は霧島市に合併する前の村で水を沢まで汲みに行っていたが、高齢化により困難になり、行政が引き継ぎそのまま、販売することになった。

職員は23人

霧島蒸留所 施設内を見学

■所感

近年は気象現象が極端化し、いつどこで災害が起きてもおかしくない時代になった。近年発生した災害を見てもこれまでに経験がない地域でも災害が発生している。行政の力が弱まっているなかで、コミュニティの力を防災に活かすことは必要不可欠である。被害を最小限化するために全国の先進的な事例から学び、コミュニティの連携を高め災害対策に取り組んでいく必要があると切に感じた。